平成　22　年　　12月　補正予算要求事業調書

1　予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)	区分		
51	下水道汚水事業	(新規)	拡大	継続

会計区分	款	項	目	所管
下水道事業会計	4	10	10	建設局　下水道部　下水道計画課

事務事業の位置付け

しあわせ倍増プラン2009	番号	51－３	事業名	下水道の整備
総合振興計画新実施計画	事業コード	6302	事業名	下水道汚水事業
根拠法令・条例・規則等	下水道法			

予算要求事業の概要

内容

本市の下水道事業は、行政面積の77%にあたる約16,800haを公共下水道の整備区域(全体計画区域)として定め、単独公共下水道と流域関連公共下水道によって整備を進めています。
平成22年度は、未整備地区の多い西区、見沼区、桜区、緑区および岩槻区を重点的に整備することで、平成22年度末における下水道普及率を87.9%(＋1.3%)に向上させます。

目的・目標

<目的>
下水道汚水事業は、市民の生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るものです。

<目標(平成22年度末)>
１　下水道普及率　87.9%
(しあわせ倍増プラン　平成24年度末数値目標　：　90.0%)

現状と課題

<現状(平成21年度末)>
１　下水道普及率　86.6%達成

<課題>
私道の公共下水道整備については、早期水洗化の実現が図られ市民サービス向上につながることから積極的な整備を実施しているところです。市民ニーズも高く、整備申請件数も増加傾向にあるため、工事発注件数も多くなっており、工事発注の平準化を図ることが課題となっています。

今後のスケジュール

・平成22年度末　工事着工

・平成23年度　　工事完了

2　補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	平成22年度末時点で見込まれる未整備私道約130件のうち、約100件について債務負担行為の設定により前倒しして実施することにより工事の円滑な執行体制及び発注の平準化を図るとともに、早期水洗化を促進し市民サービスの向上に寄与します。
	実施義務	根拠法令等 下水道法
	他市の実施状況	政令市： 県内他市：
効果	対象者	市民
	効果	早期水洗化を促進し市民サービスの向上が図られます。

3　当初予算と補正予算要求の内容

(単位：千円)

	区分	金額	備考
平成22年度	当初予算	0	<積算内訳>
	財源内訳		
12月補正予算	補正予算要求	債務負担行為設定	<積算内訳> １　私道下水道工事
	財源内訳 ①　企業債	300,000	事項：公共下水道敷設事業　限度額：300,000　期間：平成22年度から平成23年度まで
	財政局長査定	債務負担行為設定	<査定内容> １　私道下水道工事
	財源内訳 ①　企業債	300,000	事項：公共下水道敷設事業　限度額：300,000　期間：平成22年度から平成23年度まで
	<査定理由> 年間を通じた事業費の平準化を行い、効率的に執行する必要があることから、債務負担行為を設定し、12月補正予算に計上することとしました。		
	市長査定	債務負担行為設定	<査定内容> １　私道下水道工事
	財源内訳 ①　企業債	300,000	事項：公共下水道敷設事業　限度額：300,000　期間：平成22年度から平成23年度まで
	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		